

平成 29 年 7 月 5 日

氷見市長 林正之 様

要 望 書

藪田地区自治会

区長 屋敷龍己



小杉地区自治会

区長 大石泰浩



泊地区自治会

区長 出崎栄一



宇波地区自治会

区長 澤田邦夫



富山県議会議員 藪田栄治



氷見市議会議員 萩野信吾



氷見市議会議員 松原博之



当地区の振興発展及び生活安全に係る下記の事業の推進について、次のとおり要望いたします。本件につきましては国事業でありますので、氷見市より国に対して整備促進の要望を積極的に行っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

要望事項

国道160号（藪田児童公園～脇方橋間）の改修 H29-038-001

1. 要望理由と現状

- (1) 関係機関のご尽力等により能越自動車道が七尾まで開通しましたが、藪田地区の住民にとって、国道160号は唯一の生活道路であることになりありません。かねてより藪田3地区自治会（藪田、小杉、泊）では、地区住民の安全、安心を第一に考え、住民の命と暮らしを守るとともにより良い地域社会をつくるため、国道160号の道幅の拡幅と藪田トンネルの拡幅、歩道の整備等を強く要望して参りました。
- (2) 現在、部分的な整備はしていただいておりますが、添付資料で示しますように、小杉・泊地内や「うみあかり」前付近の急カーブ箇所をはじめ、まだまだ、危険箇所が残っており、要望区間では、過去に死亡事故や人身、物損事故が数多く発生していることから、住民は常に身の危険を感じながら、不安な日々を送っております。また、平成29年度からは、北部中学校と灘浦中学校とが統合されたことから、中学生の自転車通学路としても、更に危険度が増しています。
- (3) 防災対策の遅れから、大雨の際には地区に入る手前で、雨量規制による通行止（藪田～宇波間）が行われます。地区外への就労や就学する住民が大半である当地区では、児童や生徒が帰宅できず、また高齢者を残した自宅への帰宅も出来ないといった陸の孤島状態が長年続いており、毎年対策をお願いしています。

2. 具体的な要望事項

国道160号の道幅の拡幅と藪田トンネルの拡幅、歩道の整備、急カーブ箇所の解消、見通しの確保、雨量規制による通行止問題の解消、等、地区住民の生活道路として、安全性と利便性がしっかりと確保されるよう、要望区間の根本的な対策をお願いするものです。

- *添付資料 1.危険箇所の明示(5ヶ所)と要望区間を示す地図
2.写真(1)～(5)；危険箇所近辺の現場写真

*添付資料 2 ; 危険箇所付近の現場写真(1)~(5)

写真(1) 危険箇所：藪田トンネル付近

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線（藪田トンネル入口）



② 国道 160 号線（藪田トンネル→旧藪田小）



写真(2) 危険箇所：小杉・泊地内急カーブ箇所

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線（小杉・泊地内：里木酒店・ 宅付近）



② 国道 160 号線（泊地内： 宅付近、S字カーブ）



写真(3) 危険箇所：泊地内神明社付近

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線（泊地内：神明社前）



写真(4) 危険箇所：宇波地内「うみあかり」前付近

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線（宇波地内：うみあかり前）



② 国道 160 号線（宇波地内：一石山付近）



写真(5) 危険箇所：宇波地内付近

平成 27 年 6 月 27 日

① 国道 160 号線（宇波地内）

